

寺崎組新聞

発行所 寺崎組新聞社

第41回野宿塾那智勝浦 これでいいのか初日ダート300m編

伊勢軍のしんちゃん

朝のお祈りをする巻 熊野旅編

数年ぶりに我等地元での野宿塾という事で、伊勢兄弟と久々にチンチラカンチラの上村氏も参加。そして、恒例の松坂牛のをさらにパワーアップしたスペシャルステーキを大量に仕入れ伊勢を出発。新宮のスーパーで偶然にも食料買出し中の組長以下、沢海氏、地下鉄、元ちゃんも遭遇したので我々もここで合流、そしてフェリー乗り場まで再び集合時間まで待つことになった。ティポでボートとしていってトコトコとマイペースでレストアピカピカのSL90登場。前回地元で野宿塾会をしたときに参加してくれた森川さんだった。さらにもう一台CRM250、京都の南科技巧師ことヨネちゃんである。ここで待ち時間もこれまでもなり、我々はさっそく出発することに。熊野川沿いの道は舗装路、組長はスズキ君の2サイクルでピンピンピンと走るが、レストアピカピカSL90がどんだん離れていき、とうとうバックミラーの視界から消えてしまった。しかしそんなことにはおかないな組長はどんだん行ってしまおうのである。しばらく走ると組長のスズキ君がお食事時間らしく途中のGSへピットイン。そこで我々のヤマハ君とカワサキ君もお食事。そうこうしているうちに息もたえだえにレストアピカピカSL90やっと到着。約10分間のお食事も終わり再びピンピンピンピン。見ると見かねた沢海氏が後ろについてトコトコ走る。



本宮龍神林道を走るが行けども行けども舗装路ばかり。これ以上進んでも一緒だろと組長判断、草々と野宿塾会とあいなつた(最近このパターンが多い)。宴会となると、我々の出番である。「サー!!」とばかりにもてなす歓迎松坂牛攻めへと突入! ミュージックスタート(もちろんサブキタジマのド演歌デス)こうなると私(しんちゃん)は、喰う喰う飲む飲む状態になり、大変いい気持ちになっていくのです。と、ここまでは良いのだが、いきなりレッドゾーンになりヨレヨレでテントに直行。

次の日、朝日の中で悶え苦しんでいる私は沢海氏に目撃されてしまった。(のたうちまわっている姿がアラーのお祈りに見えたらしい)しかし、このモンゴルに始まった「お祈り現象」はまだまだ続きそうなのであります。(しんちゃん現象とも言う)

それから、昼前に少しまとまと林道をひとっ走り。その後、昼食をとって解散(地下鉄と元ちゃんはフェリーに乗り遅れ伊勢軍団の伊勢哲ちゃん宅に一泊、再度松坂牛の暴れ喰い!) 久々に地元での野宿塾、楽しかったです。またきてね!

地下鉄の家庭訪問

11月の塾の後、時間が遅くなりそうだったので、一緒に参加していた伊勢軍団の伊藤の哲ちゃん(兄)の家に、これまた一緒に泊まることになった。着いたらまず飯と語りごとで、伊勢市内でも旨いと評判の焼き肉屋に行ってきた。ここで僕は馴れない焼き肉に舞い上ってしまったのだ。腹がふくれたら今度は風呂、車で近くの銭湯に行く。ジェット風呂(飛行機内に入る風呂ではない)スチームサウナ、打たせ湯付で、280円。素晴らしい! 東京の銭湯なんか、350円も出して何にも無い。あけくに葛西の某「しげの湯」なんか、21時半には閉まっちゃう。

さて、風呂の後やっぱ哲ちゃんの家に入る。泊めてもらったところは本宅でなく、会社(伊藤電気)の倉庫を兼ねた3階建てのビル。1階は車庫(仕事用の車を含め8台位泊めてある)と資材置き場、2階は普通の部屋、3階は半分倉庫で半分は哲ちゃんの家。3階の倉庫も半分は哲ちゃんの家である。前号のストロボの話には驚いてしたが、実際にゴロゴロころがっているのを見て2度びっくり。その他キャンプ用品も山の様に有りました。それから、大学時代のツーリング写真を見せてもらい、時の流れと哲ちゃんの青春時代を見る事ができました。

朝は、会社の事務所を兼ねた本宅で朝食を御馳走になり、感謝感激雨殿の中、鳥羽のフェリー乗場へ向け、伊藤家を後にするのだった。

PS. 伊藤さんの兄弟は、お母さん似だな。

ホナ庄司

12月1日
寺崎組新聞社
カリフォルニア支局開局予定

寺崎 勉さまへ
No. 137 庄司 英臣

左遷

エッグ引越し!!

引越しの話を聞いたのは、アベックが異常繁殖してやがんだらうなあチキショウメ! というイブの夜の組会でであった。園分寺では遠いという事で、引越先の早川町にて待機と決定(急ぎで引越す)。そこへ組長一言「新割りと、モクの散歩よろしく」

出発前夜の晩日に友人と鍋をつついて、初めに酒無しの新年を迎えた。朝2時半に出発。東名高速浜松サビスタエリアで給油以外はほぼノンストップで走り、国道52号を北上する。それにしても検問が多い。族車対策といえ新年早々後苦勞なことである。国道を離れ早川町塩之上を目指す。午前9時半頃で凍結は無いが2車までしか通れないような道をゆっくりと登って行く。さて組長の家は、と探すと庭に下カシが張られた家が、軒すりとそこわかる。犬のモクは組長と間違えた様子で、ちぎれんばかりに尻尾を振っている。メットをとり近づくと主と間違えてしまうとは何たる不覚とばかりに罰の悪そうな顔をして尻尾を丸めて小屋に入ってしまった。

一週間に会ったばかりなのにと思いつつ、怪しい風体の私を気づかすて、石原クンハと書いてくれた。モクの散歩と宴会準備よろしく。元旦はモクの散歩と新割りをヒヤッと片付け買出しへ出発。とりあえず国道を北上するが引けども引けども開いているのはコンビニばかり。カスも少々心もとなくなってきた。

結局甲府市の近くまで来てやっぱ両方見つけて、往復80kmのお買い物になってしまった。

昼飯を終え皆がくるのを待つ。薪ス



地下鉄支社転居す

その汚さではバックン橋本家と双壁を成す地下鉄支社が、賃貸契約更新を迎え、江戸川から八王子は高尾へと引越すことになった。

去る11月29日、編集長大工と酔っ払い金子の応援を得て部屋の中味を洗いざらい27車とダットラに押し込んだ。因みにその大半は永久に完成しないであろうプラモデルと本人以外がゴミだか荷物だか判断できないガラクタ類である(5年前の古新聞を含む)。タンスの裏からは死後2年程と思われる、ゴキブリのミイラが出て来て、地下鉄との別れを惜しんでいた。

さて高尾の新居は2区風呂付の2回建屋である。風呂が付いているので、遂に地下鉄支社の台所からコールドマンが姿を消し、普通のガスレンジが入ったのだ(パチパチ!!)。旧社屋に比べれば非常に広くなり、収納スペースもたんまりある。半年程は足の踏み場が有りそうである。その夜は、一中島みゆきのお時間拝借(一民放系FMで土曜夜11:00より放送)をBGMに、新社屋落成記念式典(単なる宴会とも言う)が挙行された。尚、大家さんから一衣帯を運ばれてきて、夜に大騒ぎしないようにと一言つけられていた。嬉しいので、新社屋訪問の折には皆さん品行方正に振る舞いましょう。

記 酔っ払い金子

平成7年度組会情報

時期的にそろそろ掲載しないとヤバイ来年度の手定めはありますが、現時点ではほとんど未定です。今、判っているのは五月の連休、十一月の奥多摩山登り、暮れの小武川、二月に利根川でな何とエンデューロ大会!(野宿道具積載状態で)、組員有志による豪華狂乱温泉バスツアー(運転手は酔金)等超悶絶けろけろケロッピな企画が目白押し! 詳細は次号をまて!

◎次号の新聞は(コピーが壊れなければ)三月発行の手定。

この度の阪神大震災の犠牲者の方々のご冥福をお祈りいたします。

寺崎組新聞社編集部一同

毎日、働かずして金が入るって困る。水看護士・青木は援助部隊で三週間弱神戸入りし、その間下着を替えたのは一回のみとの事。ガンバレ!

